

城陽市障がい者自立支援協議会

第 25 回 サービス調整検討部会報告書

平成 28 年 11 月 11 日

報告者 部会長 障害者生活支援センターは一もにい 小関 徹史

標記について下記のとおり報告します。

日 時	平成 28 年 11 月 11 日
場 所	城陽作業所
出席者	城陽市福祉課、城陽市社会福祉協議会訪問介護センター、南京都病院 ホームヘルプステーションゆう、相談支援事業所TOMO、!-style 城陽作業所、ヘルパーステーションスイート、みんななかま、青谷学園 知的障害者デイサービスセンターあつぷ、 障害者生活支援センターは一もにい 12事業所
実施内容	城陽作業所で事業所見学を行い、事業所の報告の後に、サービスの利用を中々進められ ない利用者さんの家族さんへの対応について意見交換する。

【議事録】

1 事業所見学

城陽作業所の見学。3つの作業風景を見せて頂く。

2 各事業所報告

3 事例検討

ご本人は通所には変わらず来れていたが、通所の準備ができていない日が出てきた。今までは家族でカバーしながらやってこれていたが、サービス利用に否定的な両親も高齢になりそれぞれに問題が出始め、ほかの家族にも精神疾患の疑いが出始めている。

4 まとめ

家族には親しい親戚等がおらず、家庭の状況を把握してくれている人が中々いない状況。誰かが家族に入り込んでいかないといけないケース。支援者側も改善しようという強い気持ちで踏み込まなければいけない。

今関わっておられる方が全体を把握して家を見ていければ。

今後は両親を説得し、ケアマネに入ってもらい、相談先を増やしてチームで支援できれば良い。

本人は現状、家の中でも落ち着いて過ごしておられるので、後は少しずつ周りを変えられたら。

以上